

2025年度第10回西日本放送番組審議会

開催年月日 2026年3月3日(火) 14:00~16:00
開催場所 西日本放送高松本社 5階役員会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 4名

出席委員の氏名

西原義一	委員長
佃昌道	委員
森下聖史	委員
大林伸二	委員

欠席委員の氏名

岡田佳子	委員
古市聖一郎	委員
三好千尋	委員
小田英城	委員

社側の出席者

中村卓朗	(代表取締役社長)
竹内陽一郎	(取締役営業統括 業務推進局長)
和家剛	(執行役員報道制作局長兼香川報道制作部長(制作担当))
吉田剛	(香川報道制作部長)
中桐康介	(報道業務部兼香川報道制作部)

事務局

十鳥真理	(編成業務部長兼放送審議室長)
住吉剛	(編成業務部兼放送審議室)
山本峰子	(放送審議室)

2025年度第10回番組審議会議事次第

開催日 2026年3月3日(火) 14:00~16:00

場所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

[議事]

議事進行 西原義一委員長

社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議題 テレビ番組
『NNNドキュメント’25
かさねる声の先にー私たちが歌う理由ー』
2. 質疑応答

[参考資料]

- 社報 No.491
- 2026年度番組審議会開催予定表
- 2025年度第7・8回番組審議会議事録
- 視聴者対応 12・1月
- BPO報告 No.285

[次回開催予定]

開催日 2026年4月7日(火) 14:00~16:00

場所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

TEL 087-826-7241

議題 テレビ番組

『10分弟子にしてください！

～せとうちスゴい人入門～』

放送日 2026年3月21日(土) 16:00~16:55

制作 RNC西日本放送テレビ

以上

【議事概要】

今回は、『NNNドキュメント’25 かさねる声の先に－私たちが歌う理由－』を視聴していただきました。

委員からは、今回のタイトルにある「私たちが歌う理由」というところについて、その答えを追っていたが、当然人それぞれ違うが、答えもあるはずなのでもう少し紹介してほしいかった。また最後の新しいチームで歌ったあとに、今回どう感じたかをもう少し聞きたかった。

中西さんがお亡くなりになったというのが、この話の多分きっかけかなと感じたが、登場人物の関係性がよくわからなかった。渋谷さんに引き継がれていって、これから合唱団をどういう風につなげていくのかというところが知りたいと思った。

100人あまりの人たちが歌うシーンを出して素晴らしいみたいな感じで終わったかなというところで、きれいにはまとまっていると思う。合唱団の中心だった中西さんがいなくなってもみんなまた歌い続けていますってことだとは思いますが、なかなかこういう文化活動はできないので、それを香川県で規模感も大きくつなげていますよという側面も伝えたい点だと思った。

合唱団をまとめ上げてきたのが中西さんだと思うが、その中西さんの話をあまり深掘りするのも変だが、この第九に思いを込めたものをある程度表現できていたかなという感じはしている。なので番組は非常に良かったと思う。これからどう引き継がれるのかというのは、また後追いの番組みたいなのができるかもしれないが、今後は渋谷さんが中心となっていく話をどういうふうにまとめるのか半分期待を持っている。

かがわ第九はなんとなく知っているという程度だが、この番組を視聴して何か新たな気づきがあったかというところではなく、この点が少し残念だった。番組を視聴したことで視聴者が「今までなんとなく知っていたけど、番組を通じて新たな気づきや驚きがあった」といった感想が寄せられることも重要な点だと思う。との意見がありました。

制作者からは、なんでわざわざお金を払ってまでみんな歌を歌いたいんだろう。というところがまず取材のスタートでした。

私が取材をして感じたのはやはりこの歌う場所がある。何かを表現できる場所がある。自分を認めてもらえる場所がある。というのが非常に中西さんにとってはとても大事なことであって、でもこれは歌っている人だけではなくて、もしかしたら聴いている人もそうだし、何より何かの生き甲斐を持てる。心の豊かさを持てるような、そういった場所が地域にきちんとあるということの重要性というのを僕はすごく感じました。芸術文化というものが、すぐ何かを生み出したりお金になったりしない中でもどこまで必要か、平たく言えば税金をどこまでかけるんだみたいな、そういう議論が行われている中で地域にきちんとそういう文化芸術というものが受け継がれて、そこで営みとしてやっている人がその地域の中でいるというのは地域のすごく大きな力になるんじゃないのかなということを取材を通して感じました。だからこそ副題に「歌う理由」というのを付けさせていただいて、いろいろな困難を抱えながらも続けることを決断した人がなぜこの地域にいるのかというのを、皆さんに感じてほしいなという思いで番組を作りました。との回答がありました。